

# 第4次福井県男女共同参画計画（仮称）（R4～R8）の骨子案

令和3年11月24日  
県民活躍課

資料 4

男女共同参画社会基本法および福井県男女共同参画推進条例に基づく「男女共同参画計画」、女性活躍推進法に基づく「女性活躍推進計画」

## 1 策定コンセプトおよび基本理念

### 策定コンセプト

- 多様なしあわせに寄り添う社会を目指す  
特に「女性が暮らしやすい社会」は「みんなが暮らしやすい社会」
- 次世代ファースト  
福井の良さを次代に継承し、女性や若者から選ばれる福井に

### 基本理念

## ふくいの暮らしをより豊かに、みんながしあわせを実感

### 自分のしあわせは、自分が選択

様々な生き方・暮らし方の選択肢があり、それぞれが自分にあった「最適解」を自ら選択

### 「がんばれ」から「楽しもう」へ

これまで走り続けてきた人に  
対し、これからは「がんばれ」ではなく「楽しもう」へ

### 時間と心に「ゆとり」を

日々の暮らしの中で、時間的および精神的な「ゆとり」を創出し、「Me Time=自分のための時間」を持つ

### 「安心」があるから「挑戦」できる

みんな「居場所」があり、あらゆる  
場面で「役割」が与えられ、安心して新しいことに挑戦できる

### 誰もがいつまでも居心地よく

家族・地域のつながりや支え合いの精神を大切に、すべての世代が安心して暮らし生涯活躍できる

## 2 施策の方向性

### ポイント

- ・「家事・育児」に追われ、自分の時間がない
- ・「残業」続きで、家族との“触れ合い”がない
- ・多くの女性は、仕事で意思決定を行うポストに携われていない
- ・子供の出産や育児により、キャリアが中断されてしまう

### 家事・育児を楽しみながらシェア

共家事（トモカジ）の促進

### 女性が活躍する職場環境づくり

ふくい女性活躍推進企業の取組促進

・仕事やプライベート、地域活動等において新しいことにチャレンジ

・家族と過ごす時間が増え、コミュニケーションも充実

・女性の意見が反映されることで、多様な意思決定が可能に

・柔軟な働き方を自ら選択することで、自分らしいキャリアを実現

## I 家庭

## II 仕事

## III 地域

## IV 未来の共生社会づくり

### みんなで楽しむライフスタイルの推進

#### 1 暮らしの中の「ゆとり時間」の創出

○女性の家事育児に係る負担軽減

・家事代行サービスや子供の一時預かり・送迎サービス等の利用促進など

○男性の「暮らし方・意識改革」の推進

・家事・育児について男性が専門家に気軽に相談できる環境づくりを推進  
・長時間労働の是正・育児取得を進め、男性の家族時間を延伸 など

#### 2 夫婦・家族で家事を楽しむ共家事（トモカジ）の促進

・量販店等との共同キャンペーンや家事「見える化」シートによる啓発  
・料理に対する苦手意識克服のための教室など、男性向け講座を充実 など

#### 3 安心して子育て・介護ができる支援制度の充実

～「共家事」から「共育児」「共介護」が当たり前な社会に～

○多様なつながりやサービスを活用した子育て世代の負担軽減

・三世代など世代間による家事や子育ての助け合いの推進  
・家事代行サービスや子どもの一時預かり・送迎サービス等の利用促進  
・民間団体による「すみずみ子育てサポート」の充実  
・子育て応援サイト「ふく育」を活用した子育て情報の充実 など

○地域社会による助け合いの推進

・地域コミュニティにおける子どもの居場所・子育ての場の充実 など

○介護予防および介護支援の充実

・シニアグループの新たな地域文化活動及び多世代との交流を支援  
・在宅医療・介護サービスを一体的に提供する体制づくりの推進 など

### 多様な働き方、キャリアを自ら選択できる環境づくり

#### 1 企業における女性活躍の推進

○女性が活躍できる制度や環境づくりを推進

・「ふくい女性活躍推進企業」の登録拡大・支援  
・ふくい女性活躍支援センターやふくいジョブカフェ等における就職支援  
・女性活躍の専門家による企業の相談・取組サポートの拡充 など

○経営者等の意識改革

・女性登用の必要性を経営者に直接訴える講演会や勉強会の開催 など

○女性活躍に取り組む企業の魅力発信

・合同説明会など学生向けイベントにおける企業の積極的PR  
・女性活躍に顕著な功績を上げた企業や女性個人・グループを表彰 など

#### 2 働く人のための「しあわせ働き方改革」の促進

～多様で柔軟な働き方を自ら選択できる職場環境づくり～

・「社員ファースト企業」の登録拡大・支援  
・男性社員の育児休業取得促進のため、奨励金による企業支援 など

#### 3 「自ら成長を楽しむ」女性のキャリアアップを応援

・お茶の水女子大学と連携した女性管理職・リーダー研修の充実  
・ふくい女性活躍支援センターによる女性のキャリア相談 など

#### 4 女性の再就職、創業拡大支援

○ライフイベントにあわせた再就職支援

・ふくい女性活躍支援センターにおける再就職相談の実施、セミナー開催 など

○女性の創業拡大のための支援

・ふくい女性活躍支援センターにおける創業相談の実施  
・ITエンジニアやWEBデザイナー等の育成スクール開校 など

### あらゆる分野における女性の参画拡大

#### 1 女性の地域活動等への参画推進

○女性の新たなチャレンジを応援

・県民ワクワクチャレンジプランコンテスト・女性部門の開催や  
チャレンジ応援ディレクターの活動を通じた支援  
・農林水産業における女性の個人・グループのチャレンジ支援  
・女性活躍の身近なモデルとなる「女性のチャレンジ賞」表彰 など

○自治会や子ども会等、地域活動への女性参画促進

・男女共同参画に功績のあった個人・グループを表彰  
・生活学習館における地域のリーダー養成講座の開催  
・女性の地域の消防団への加入や防災士資格取得を促進 など

○性別による役割分担意識や慣行等の見直し

・男女共同参画・女性活躍に関する講座の開催  
・男女共同参画に関する普及啓発キャンペーンの実施 など

#### 2 女性の「仲間づくり」や「つながり」をサポート

・「ふくいウイメンズ・オアシス」にピアサポートサロンの開催  
・女性団体・男女共同参画ネットワークの活動を応援 など

#### 3 政策・方針決定過程への女性の参画促進

・県・市町の審議会等における女性登用の推進 など

### 多様な選択を可能とする教育・学習の充実

#### 1 学校や家庭における男女共同参画教育の普及

・小中高生向けパンフレットによる啓発  
・小学生向けの教育教材の普及  
・中学生対象「次世代育成セミナー」開催  
・家庭の教育力向上のための支援 など

#### 2 多様な職業選択の推進

・高校生対象「科学・技術者への招待セミナー」の開催  
・ITエンジニアやWEBデザイナー等の育成スクール開校  
・理系学生向け「企業見学会ツアー」等による意識啓発 など

#### 3 若者・シニア世代のライフデザイン支援

・大学生対象「ライフデザイン講座」の開催  
・女子大学生と働く女性による交流会「キャリアカフェ」の開催  
・シニア世代対象「ライフデザイン講座」の開催 など

## V 安心・安全の確保

#### 1 女性に対する暴力の根絶

～DVや性暴力被害、性犯罪への対策の推進～

・配偶者暴力被害者支援センターの運営  
・女性の犯罪被害防止のための相談および支援 など

#### 2 生涯を通じた女性の健康支援

・不妊治療における治療費の一部助成等による支援  
・フェムテック（※）など女性の健康課題の解決に向けた取組促進 など

#### 3 女性への寄り添い支援

・「ふくいウイメンズ・オアシス」におけるピアサポートサロンの開催  
・「生理の貧困」の状況にある女性に寄り添った相談支援  
・女性目線の防災や災害時の対応に関する講座等の開催 など

※ Female（女性）とTechnology（テクノロジー）からなる造語  
生理や更年期などの女性特有の悩みに、先進的な技術を用いて解決策を提案するもの

#### 4 みんなが安心して暮らせる社会づくり

○多様な性的指向・性自認への理解促進

・人権センターによる相談、ハンドブック等による教育・啓発 など

○高齢者、障がい者、外国人等が安心して暮らせる環境整備

・高齢者の社会参加活動を促し、生きがいと健康づくりを促進  
・障がい者が安定した生活を送ることができる環境整備  
・外国人への相談体制の整備、日本語指導ボランティアの養成 など

# (参考) 第3次計画 (H29~R3) の主な施策と現状・課題

## アクティブウーマンが活躍する社会の実現

## 男女がともに楽しむライフスタイルの推進

## 男女共立の次世代育成

### 【主な施策】

### 【主な施策】

### 【主な施策】

#### ●女性活躍を積極的に進める企業の拡大

#### ●「家族みんなで家事・育児を楽しむ」生活スタイルの推進

#### ●家庭や学校における男女共同参画教育の普及

##### ○「ふくい女性活躍推進企業」の認証・支援

##### ○家事・育児講座の開催

##### ○学校における男女共同参画の推進

- ・女性の採用・育成・登用に積極的に取り組む「ふくい女性活躍推進企業」の登録拡大 (H27~) 登録企業 (H27) 82社 → (R2) 288社
- ・「ふくい女性活躍推進企業優良活動表彰」の創設 (R2 ~) (企業) 3社 (個人・グループ) 9件



推進企業優良活動表彰

- ・新米パパママを対象とした家事・育児講座の開催 (H28~) 参加者 252名 (うち男性90名) (H29~R2)



新米パパ・ママ講座

- ・中学生対象「将来の職業を考えるセミナー」の開催 参加者 18校 2,242名 (H29~R2)



次世代育成セミナー (R2.1.30 鯖江中学校)

- ・高校生対象「理工系分野の女性活躍セミナー」の開催 参加者 7校 1,355名 (H29~R2)
- ・小中高校生向け男女共同参画パンフレットによる啓発 小学5年生向け (わたしがキラリ、みんながキラリ 9,000部) 中学1年生向け (ともに輝く未来へ 8,000部) 高校1年生向け (主役で行こう 8,000部)



科学・技術者への招待セミナー (R2.10.7 金津高校)

#### ●女性のキャリアアップ支援

##### ○共家事(トモカジ)の促進

#### ●若者のライフデザイン支援

##### ○「ふくい未来きらりプログラム」

- ・量販店等と連携し、夫婦が一緒に楽しみながら家事を行う「共家事」を促進するイベントの開催 (H29~R1) イベント開催企業 (H29) 5社 (H30) 10社 (R1) 10社
- ・共家事促進店を通じたキャンペーンの実施 (R2~) 共家事促進店 104店舗 (R2) 156店舗 (R3)
- ・新婚世帯向け「共家事」セミナーの実施 (R3) 県内8か所で開催予定 (R3)



共家事ロゴマーク

##### ○大学生等へのキャリア教育の推進

- ・お茶の水女子大学と連携し、女性リーダー育成研修を実施 (H24~) 企業リーダーコース 延べ199名受講 製造業リーダーコース 延べ 64名受講 受講生から管理職20名、リーダー21名が誕生 (R1.6月)



未来きらりプログラム受講生

- ・企業で働く女性と女子大学生との交流会を開催 参加者 150名 (H29~R2)



働く女性と女子大学生との交流会 (R1.10.8)

- ・県内大学と連携したライフデザイン講座の開催 参加者 141名 (R2・オンライン)

- ・家事の「見える化」チェックシートを活用したキャンペーンの実施 (R2~)



家電量販店における共家事イベント

#### ●女性の創業・再就職の支援

#### ●多様な担い手・サービスによる家事・育児の助け合いの推進

#### ●ライフステージに応じたセルフブランドの開発・向上

##### ○「ふくい女性活躍支援センター」

- ・女性向け創業セミナーの開催や、女性の再就職・育児休業からの円滑な復帰を支援 (H25~委託)



ふくい女性活躍支援センター

- 相談件数 (H25) 215件 → (R1) 1,538件 (R2) 930件 就職者数 (H26) 35人 → (R1) 123人 (R2) 79人

- ・「ふくい女性活躍推進企業」を対象に、福利厚生制度として女性社員の家事代行サービスの利用を推進するモデル企業を支援 (H29、H30) モデル企業選定 (H29) 1社

- ・「学びなおしサポートセンター」での社会人の学びなおしによるキャリアアップ支援 相談件数 176件 (H29~R2)



学びなおしサポートセンター

### 【現状・課題】

### 【現状・課題】

### 【現状・課題】

#### ●女性管理職比率は増加しているが、全国下位が続いている

#### ●家事・育児は女性が中心であり、男性の家事・育児時間はまだまだ少ない

#### ●性別による固定的役割分担意識は改善が見られるものの、まだ若い世代にも意識が残っている

- ・管理職に占める女性の割合 H17: 9.4% (全国47位) H22: 11.7% (全国41位) H27: 13.6% (全国46位) ※H27国勢調査

- ・福井県の1日の家事・育児時間 (有業者の平均) 男性20分、女性2時間44分 ※H28社会生活基本調査

- ・「男は仕事、女は家庭」という考え方に肯定的な人の割合 (全年代) 男性 H27: 43.0% → R2: 30.6% (△12.4ポイント) 女性 H27: 28.8% → R2: 16.4% (△12.4ポイント)

#### ●女性の昇任意欲を高めるには、女性の家事・育児の負担軽減が重要

- ・家事を「いつもある」人の割合 「食事のしたく」 男性: 10.2%、女性: 79.0% 「掃除」 男性: 18.4%、女性: 69.5% 「洗濯」 男性: 14.0%、女性: 79.3%
- ・「男性も積極的に家事をするほうが良い」と回答した割合 男性: 30.3%、女性: 54.7%
- ・「男性も育児休業を取得したほうが良い」と回答した割合 男性: 77.1%、女性: 83.3% ※R2県民意識調査

- (若年層) 10代 (18、19歳) H27: 19.7% → R2: 13.3% (△6.4ポイント) 20代 H27: 35.7% → R2: 12.5% (△23.2ポイント)

- ・女性が管理職になることが難しい理由 「家事、育児、介護の負担が男性に比べて大きいから」 33.3% 「女性の職業能力が男性に比べて評価されにくいから」 14.8% ※R2県民意識調査

#### ●昇任意欲

#### ●女性の継続就業のためには、育休や短時間勤務などの両立支援が必要

- (年代別) 男性 10代 (18、19歳) H27: 21.9% → R2: 15.3% (△6.6ポイント) 20代 H27: 41.2% → R2: 20.0% (△21.2ポイント) 30代 H27: 39.1% → R2: 23.1% (△16.0ポイント) 40代 H27: 43.6% → R2: 28.7% (△14.9ポイント) 50代 H27: 37.7% → R2: 18.0% (△19.7ポイント) 60代 H27: 47.8% → R2: 34.9% (△12.9ポイント) 70代以上 H27: 54.2% → R2: 52.7% (△1.5ポイント)

- 「今働いている会社でどこまで昇任したいか」 管理職になりたい 男性 47.3% 女性 12.5%
- 女性が「管理職になることを望まない理由」 仕事と家庭の両立が困難になる 62.3%
- 女性が「仕事と家庭の両立が困難になる」と答えた理由 育児への関りを減らしたくない 44.3% 家事への関りを減らしたくない 30.5% ※R3企業で働く男女の活躍に関する調査

- ・女性が職場で能力を発揮し、継続して勤務するために何が重要か (女性の回答) 「個別の事情に応じ、育児のための短時間勤務などの柔軟な働き方ができること」 39.6% 「育児休業が取りやすくなること」 32.4% 「仕事に必要な職業能力を身につけること」 29.3% 「家族間で家事・育児・介護の分担が進むこと」 29.1% ※R2県民意識調査

- 女性 10代 (18、19歳) H27: 18.1% → R2: 11.7% (△6.4ポイント) 20代 H27: 30.6% → R2: 6.8% (△23.8ポイント) 30代 H27: 22.6% → R2: 18.4% (△ 4.2ポイント) 40代 H27: 25.0% → R2: 15.5% (△ 9.5ポイント) 50代 H27: 27.4% → R2: 10.9% (△16.5ポイント) 60代 H27: 34.6% → R2: 19.9% (△14.7ポイント) 70代以上 H27: 36.6% → R2: 24.0% (△12.6ポイント)

#### ●機会があれば管理職になりたいと考える女性の割合は、全国に比べ高い

#### ●男性の家事・育児参加を促進する取組みを実施している県内企業はほとんどない

- ・管理職になりたい、推薦されればなりたい 福井県: 33.3% > 全国: 29.5%
- ・管理職になれる可能性はあるか 福井県: 25.0% < 全国: 28.7% ※R2 ダイバーシティ推進状況調査 (21世紀職業財団)

- ・男性向けに、家事・育児参加の促進など取組みを実施している企業 13.6% ※R2企業における女性活躍に関する調査

※R2県民意識調査 ※括弧内は前回調査との比較

#### ●女性の管理職登用について、計画や数値目標を設定している企業が少ない

- ・計画を設定している企業 8.7%
- ・数値目標を設定している企業 4.1% ※R2企業における女性活躍に関する調査

# (参考) 男女共同参画および女性活躍に関する「データ」および「意見交換会等を通じたご意見」

## データ

- ・福井県の女性は、他県に比べて家事・育児時間が長く、ゆとり時間(余暇時間)は少ない
- ・福井県は働く女性の比率が日本一高いが、一方で女性管理職比率は他県に比べて低い

### (1) 女性の家事・育児時間の長さは全国上位、ゆとり時間は全国下位

#### ○家事・育児時間

女性(長い順)		
順位	都道府県	時間
1位	静岡県	2時間47分
2位	山梨県	2時間45分
<b>3位</b>	<b>福井県</b>	<b>2時間44分</b>
	全 国	2時間27分

(出典) H28社会生活基本調査

男性(長い順)		
順位	都道府県	時間
1位	沖縄県	27分
2位	東京都	25分
3位	山形県	24分
	宮崎県	
<b>20位</b>	<b>福井県</b>	<b>20分</b>
	全 国	20分

(出典) H28社会生活基本調査

女性と男性の差(大きい順)		
順位	都道府県	時間
1位	静岡県	2時間29分
2位	山梨県	2時間25分
<b>3位</b>	<b>福井県</b>	<b>2時間24分</b>
	全 国	2時間7分

(出典) H28社会生活基本調査

#### ○ゆとり時間

女性(長い順)		
順位	都道府県	時間
1位	山口県	5時間19分
2位	北海道 和歌山県	5時間15分
<b>45位</b>	<b>福井県</b>	<b>4時間28分</b>
	全 国	4時間56分

(出典) H28社会生活基本調査

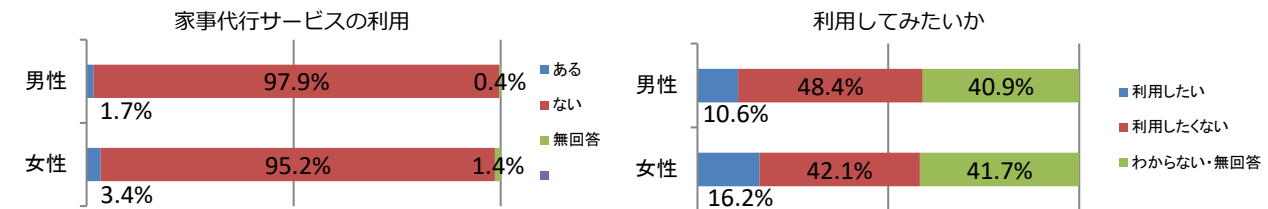
男性(長い順)		
順位	都道府県	時間
1位	高知県	5時間42分
2位	山口県 愛媛県	5時間41分
<b>31位</b>	<b>福井県</b>	<b>5時間20分</b>
	全 国	5時間20分

(出典) H28社会生活基本調査

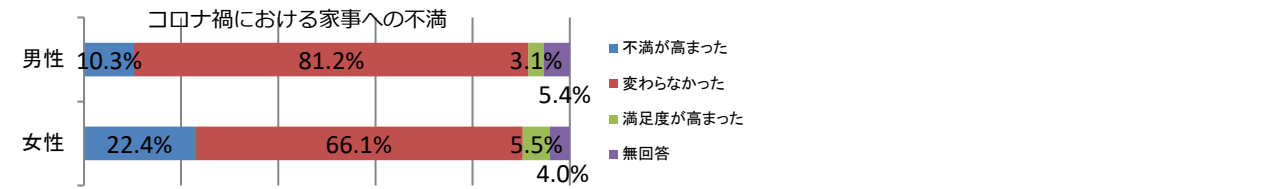
女性と男性の差(大きい順)		
順位	都道府県	時間
1位	島根県	1時間4分
2位	青森県	1時間1分
3位	山形県	59分
<b>6位</b>	<b>福井県</b>	<b>52分</b>
	全 国	24分

(出典) H28社会生活基本調査

#### ○家事代行サービスの利用はあまり進んでいない



#### ○コロナ禍において、家事への不満が高まった女性が増えた



## 主なご意見

- ・男性も楽しみながら家事・育児に参加することが大事
- ・女性も仕事において意思決定できる立場になっていくべき

#### ○次世代・子育て世代

##### ・若者

- ・一日の家事をリストアップして「見える化」し、その大変さを夫婦で共有することが大事
- 将来的には、民間サービス等をうまく活用し、家事・育児の外部化を進めるべき
- ・子育ては両親を頼りにするものの、両親とは適度な距離を保ちつつ、うまく付き合う必要がある
- ・男性の家事育児参加を促す中で「ほめて伸ばす」「ありがとう」を心掛け、家事は一緒に楽しむものという意識づくりが大切
- ・企業の、休みが取りやすく、育児や介護の支援を受けやすい環境づくりにより、自分の時間が増えて生活の質が向上する

##### ・子育て世代(Iターン者)

- ・福井は女性も働きに出て当たり前の風潮があり、働きに出ないと「どうして」と不思議がられる
- ・男性が育児をすると「えらいね」「助かるね」と言われるが、出産・授乳以外の育児は男性女性どちらでも可能なものであり、男性がして特別というものではない
- ・働きに出ている女性が多くても、管理職が少なく、責任ある仕事に就けていない。女性に責任ある仕事をもっと任せべき

#### ○働く女性

- ・会社が生き残るためには、男女問わずに能力を評価し、女性も意思決定できる立場に就くべき
- ・自由になる時間があっても、子供のことや仕事のための勉強をしていて、本当に自分だけのための時間というものは作れてない
- ・年末の大掃除における民間の清掃サービス利用など、家事代行サービスの部分的な利用はあるが、定期的な利用には至っていない。ただ、クーポンなどで一度試してみて、良ければ利用したい

#### ○企業

- ・これまで女性が発言する場を作ってこなかった。これからは女性の意見を取り入れた環境づくりとビジネス展開が重要
- ・女性が出産・子育てを経て復帰した後、中断することなくキャリアを形成し、男性と対等に評価される仕組みが必要

#### ○女性団体等

- ・今後はSNS等を活用した情報発信も必要
- ・地域活動に取り組む若者の事業やイベントに、団体も一緒に取り組んでいきたい。若者が集まる曜日・時間帯に場所を用意するなど、団体側の工夫も必要

### (2) 女性の就業率や正規雇用率は高いが、管理職比率は低い

#### 女性の就業率

順位	都道府県	割合
<b>1位</b>	<b>福井県</b>	<b>52.6%</b>
2位	石川県	51.8%
3位	東京都	51.6%
	全 国	48.3%

(出典) H27国勢調査

#### 女性の正規雇用率

順位	都道府県	割合
1位	山形県	55.9%
<b>2位</b>	<b>福井県</b>	<b>53.9%</b>
3位	富山県	53.7%
	全 国	45.5%

(出典) H27国勢調査

#### 夫婦世帯における共働き割合

順位	都道府県	割合
<b>1位</b>	<b>福井県</b>	<b>58.6%</b>
2位	山形県	57.9%
3位	島根県	56.5%
	全 国	47.6%

(出典) H27国勢調査

#### 女性の管理職割合

順位	都道府県	割合
45位	千葉県	13.9%
<b>46位</b>	<b>福井県</b>	<b>13.6%</b>
47位	長野県	13.5%
	全 国	16.4%

(出典) H27国勢調査

### (3) 県民意識調査

#### ○男性・女性ともに若い世代にも性別による固定的役割分担意識が残っている

「男は仕事、女は家庭」という考え方に賛成か反対か

